

ひろの

議会だより

No.171

こども園 運動会

秋の日差しがまぶしい晴天の中、子どもも大人も暑さに負けず、元気いっぱい頑張りました！



二次元コードを読み込むと議会の情報を見ることができます。

P2

町民との意見交換会
(町執行部回答の報告)

P6

こんなことが
決まりました

P8

令和7年度決算認定

P12

5議員が町政を問う
(一般質問)



の意見交換会

令和8年5月29日から30日までの2日間の日程で開催した「町民と議員との意見交換会」。全員協議会で意見を取りまとめ、7月29日に議長から町長へ意見の報告書を提出しました。意見の報告書に対し、町執行部より回答が届きましたので報告いたします。

要望1 未来のかけ橋エレベーター 使用方法の周知について

エレベーターについて、自転車に乗車したまま利用している方がいたため、正しいエレベーターの使用方法和注意喚起の周知を図ること。



エレベーターを利用する様子

回答 政策企画課

福島県立ふたば未来学園中学校・高等学校の校長宛てに、エレベーターの適正利用について、乗車したままの利用は他の利用者との接触や事故につながる恐れがあるため、安全確保の観点から、エレベーター利用時は自転車から降車した状態で利用いただくこと等、モラルの遵守に関する通知を発出しました。



広野町ホームページ
問い合わせページ

要望2 緊急、災害時の対応について

- ・町のホームページに記載のあるメールアドレスにメールを送信したが、返信がなかったため、対応の流れ及び対応方法について確認すること。
- ・災害時の要配慮者（自力で行動ができない方（寝たきりや車いす）等）の付き添い及び避難方法について、分かりやすく住民に周知を図ること。

回答 総務課

町の代表メールアドレス宛に送信していただいたお問い合わせについては、総務課で内容を確認してから担当部署へ対応を割り振り、通常の日安である5開庁日以内に担当部署から返信する流れとなっております。

今回ご指摘のあったお問い合わせは、令和8年4月23日に「災害時における障害者や高齢者の避難体制はどうなっているのか」というお問い合わせでしたが、関係部署で内容に係る手続きの整理等に時間を要したため、結果として回答が6月29日と大幅に遅れることとなりました。対応が行き届かず誠に申し訳ございません。

今後は、問い合わせ対応の進捗管理を徹底し、同様の遅延が生じないよう体制の見直しを進めてまいります。

回答 環境防災課

町では、気象庁が発表する災害発生の危険度を表す「防災気象情報」について、警戒レベル3相当の警報発表となる見込みがある場合は避難所開設の準備を行い、発表された場合は速やかに防災行政無線で避難に時間を要する高齢者の方及び要配慮者への避難を呼びかけ、災害が発生する前から命を守る行動をとっていただけるよう取り組んでいます。また、要配慮者の避難についてお困りの場合は、町役場へご連絡いただければ、広野町地域防災計画に基づき、要配慮者が円滑に避難できるよう町及び消防団、福祉関係者が連携して移動支援をまいります。

町民と議員と

要望3 広野町のシンボルについて

町民からの目線では、二ツ沼総合公園にある風車が広野町のシンボルだと認識しているようです。そこで、その風車が広野町のシンボルと位置づけられているものなのか。また、今後どのように利活用していくのかお示しいただきたい。

回答 政策企画課

二ツ沼総合公園は、広野町を代表する施設として、町のシンボリックな存在となっています。そして、公園内に設置されている「風のトリデ」の風車は、公園を象徴するランドマークとして、多くの方々に親しまれています。

風車が町を思い起こさせる存在となっていることは大変ありがたいことであり、その親しみやすさも含めて、公園全体が町の魅力を体現しているものと考えています。一方で、風車は整備から30年以上が経過しており、老朽化が進んでいます。現在では、主要部品の調達が極めて困難となっていることから、羽を回すための修理や復旧は現実的に難しい状況です。

現状では、安全性を確保しつつ、象徴的な構造物としての維持に努めているところですが、今後、風車の利活用について検討してまいります。



二ツ沼総合公園にある風車



赤道整備予定箇所の様子

要望4 赤道整備事業について

下浅見川字本町17と下浅見川字本町15との間にある赤道の整備について、令和7年12月頃に測量を実施し、その後進捗が止まっているので今後の方針をお示しいただきたい。

回答 環境防災課

昨年度に実施した測量については、津波発生時の避難路として赤道整備を検討し、延長63m、幅1.1mの舗装された歩道の整備に向け実施したものです。

付近には緊急時に避難路として利用できる舗装された幅員4mの道路や空き地がありますが、現地は草が繁茂しており避難路として利用できるように砕石による路盤工を施工し、歩行に支障がでないよう維持管理に努めます。

要望5 折木地区土砂採取区域の右折レーン脇の仮設ガードレールについて

開発行為の許可が終了したら、仮設のガードレールは撤去するのか。また、現在の状況及び今後の方針をお示しいただきたい。

回答 建設課

仮設のH鋼ガードレールにつきましては、国道6号正木内地内の右折レーン整備に際し、国土交通省東北地方整備局磐城国道事務所（以下「磐城国道事務所」という。）が整備したものです。今後は、町は折木地区土砂採取区域の活用方針を決定し、仮設のH鋼ガードレールの取扱いについて、磐城国道事務所と協議していきます。

なお、折木地区土砂採取区域完了工事につきましては、令和8年3月31日に竣工し、林地開発行為及び採石法の手続きについても完了しています。



現在の仮設ガードレール設置状況

全員
協議会

防災の駅計画



折木地区土砂採取区域 現場写真



全員協議会の様子

令和8年9月11日の
全員協議会において、
町から5月に示された
「広野町防災の駅基本
計画」の今後の進め方
について議会の意見が
求められ、各議員から
それぞれ意見が述べら
れました。
本号では、これまで
の経緯と、各議員の意
見をお知らせします。

これまでの経緯

本町では、平成27年
8月に「道の駅基本構
想」を策定し、平成29
年3月に整備検討報告
書を取りまとめました。
その後、敷地面積を縮
小する事業計画に変更
し、平成31年2月から
土砂採取工事を開始し
ました。

しかし、同年11月に
硬質岩盤が出現したこ
とから計画を見直し、
令和2年9月には再度
規模を縮小する計画に
変更しました。

令和3年9月、議会
に「道の駅」に関する
調査特別委員会を設置
し、計画休止の経緯や
土砂採取前の調査など
について検証しました。
その結果、ボーリング
試験等は適正に実施さ
れ、町の判断に誤りは
なかったことを確認し
ました。

一方、議会としても
土砂採取に係る予算を
承認した責任の一端を
認め、反省するととも
に、町に対して再発防
止策を明確にし、町民
への説明責任を果たし
た上で、早急に今後の
方向性を示すよう求め
ました。

その後、令和6年1
月、地域振興施設を伴
う「道の駅」の計画を
中止し、「広野町防災
の駅整備事業」構想に
変更。基本計画の策定
を進め、令和8年5月
の議会全員協議会で説
明が行われました。

これまで「防災拠
点・道の駅ひろの整備
事業」「広野町防災の
駅整備事業」に、平成
26年度から令和7年度
までで、約10億5千万
円の事業費が支出され
ています。

各議員の考えは？

渡邊 忠義 議員

現状予算を使って駐車場的なものも舗装されているわけですから、草刈等を実施して維持管理をしていくべきだと思います。

ただそれ以外の地区については、もう少し見直しをして、新たな計画の中でやっていけばいいのかなと思います。

西内 玄太 議員

現状5月にいただいた計画の内容で、必要だと感じるころは一つありません。

現状必要なのは周辺地域への悪影響防止と荒廃防止について最小限の予算でケアし、必要性があるものが生じたときには、また使い方を考えていけばいいのかなと思います。

私の意見としては、公式に中止と発表するしかないのかなと思います。

遠藤 浩 議員

防災に特化した部分で進めるのであれば、しっかり整備していく必要があると思っています。

いいところ取りであれもこれもでいくと、なかなか見出だせないのでもそこは検討していただきたい。

現状整備される範囲の中で再度見直しをしていただき、詰めていく中であれば、当然出していくべきだと思います。

北郷 伯弘 議員

防災の駅のある場所に立って、情景を見るとこれは貴重な雰囲気だと感じております。

総合グラウンドは夜になると、明かりが綺麗に見え、それをうまく活かせるといいなと感じたところです。

防災の駅については、今現在大きなものはいらないと思います。

私としては、何をするにしても水道が必要であると感じます。

西本 久雄 議員

防災の駅構想として折木地区、岩沢地区、二ツ沼地区とかを考えるのではなく、跡地利用と防災の駅を一回切り離して精査すべきだと思います。繋げて一緒に考えてしまうと、どうしても難しいところが出てくるのではないかと思います。

高木 光雄 議員

1点目、折木地区の防災エリアについては、なぜ道の駅が出来なかったという疑問と不信感をもっているのが事実。それから、森林回復工事が完了しましたが、今の現状では町民が踏み入るには危険であるため、あそこに人を集める計画はしない方がいいと思います。

2点目、二ツ沼防災エリアと岩沢地区については、現状ヘリポートとして活用している箇所があるため不要かと思っています。

3点目、岩沢地区の敷地の活用方法について、あそこをヘリポートとするには電線があり大変危険。折木地区と併せて災害が起きた際の撤去物等の仮置き場にすべきかと思っています。

4点目、直売所の脇については、振興公社も新体制となるので防災機能も含めて検討すべきだと思います。

最後に、私は長期的にしっかり計画することで広野町全体が安全な町になるのではないかと思います。

門馬まりえ 議員

調査特別委員会が長くかかりすぎたなと実感しております。報告の通り議会にも責任がありました。今回新しくどう考えていくかというときに、あれだけ工事が入ったわけですから、何もなかったようにしてしまうのはもったいないと思っています。

最低限の駐車場みたいなものがあれば、休憩できるスペースとして活用でき便利だなと思います。

広野町の案内看板を立てて広野町を歩いてもらったり、駅前に人を誘致できるような工夫が感じられる開発ができないかと思っています。

各議員が自由な
意見を述べました



9月
定例会

いんないじが決まりました

決算のほか、条例改正、施設設置条例、工事請負契約、補正予算等を審議し、全て原案のとおり可決（同意）しました。

条例改正

一部改正する条例を可決

○広野町特定復興産業集積区域における町税の特例に関する条例

○広野町福島県特定事業活動振興計画に基づく町税の特例に関する条例

○広野町福島県新産業創出等推進事業促進計画に基づく町税の特例に関する条例

○広野町地方活力向上地域における固定資産税の不均一課税に関する条例

広野駅交流施設設置条例

設置及び管理の条例を可決

広野駅周辺における賑わいの創出並びに地域住民及び来訪者の交流の促進を図り、災害時における一時避難及び情報提供等の防災機能を確保するため、設置及び管理に関する事項について定めるものです。



広野駅交流施設内

広野駅交流施設

質疑 施設内の利用方法は？

西本 久雄 議員

条例施行前の利用を認めた根拠と手続きについて伺います。

加賀 政策企画課長

駅利用者に開放しているのはご承知の通りですが、町がコントロールして内容を精査した上で実施しています。交流施設内での飲食提供については事業者と事前打ち合わせを行い、規則に外れない形で了承して実施をしました。

広野駅交流施設

質疑 広野駅前広場の用地は？

高木 光雄 議員

広野駅交流施設設置条例第2条に記載されている地番の用地はJRから借りているのか、或いは交流施設だけ購入したのか伺います。

加賀 政策企画課長

現在、施設の底地はJRから借りています。令和9年度用地取得、令和10年度西口ロータリー工事を実施する計画となっております。

広野駅交流施設

質疑 施設管理は誰が行うのか？

渡邊 忠義 議員

広野町交流施設設置条例第3条の管理運営について、今後の施設管理は、指定管理で行うのか伺います。

加賀 政策企画課長

現状指定管理をするつもりはありません。現状政策企画課の職員が毎週1回駅舎の中とトイレ掃除をしている状況です。

小松 町長

現状女性の会や鉄道会社OBの方にボランティアで駅の美化活動を行ってもらっています。

今後維持管理が難しくなってきた場合は、相談し適切な運営が図られるように取り組んでいきます。



女性の会による
交流施設清掃の様子

9月定例会

狼山叶沢線(8工区)開設工事

工事請負契約の締結を可決

水源かん養保安林整備の作業コスト軽減による生産性の向上及び労働条件の緩和を図り、将来にわたり適正な森林管理を可能とするため、林業専用道路を整備します。

工事名称 林専道狼山叶沢線(8工区)

開設工事

工事場所 上浅見川字狼山地内外

工期 着工 令和8年9月10日

請負代金 完成 令和9年3月31日

受注者 株式会社金村組

林業専用道路整備事業

質疑 施工数量及び工期は？

高木 光雄 議員

飯島 建設課長

今までは工区を分けて実施していたが、今年度発注工区については施工延長も長く、数量も多いが一社での受注で対応できるのか。また、今年度工期で間に合うのか伺います。

工事の中身は難しいものではありません。受注した施工業者と協議をし、起点と終点の両側から施工するなどの工夫をして、工期までの完了を遵守できるように対応していきます。

令和8年度9月補正予算

会計名		補正額	補正後の予算額	主な内容(一般会計)
一般会計		1億 394万円	51億6958万円	●観光事業費 広野町魅力向上発信事業 業務委託料 2523万円 ●道路維持補修費 工事費 3046万円 ●賦課徴収事務費 税過誤納還付金 1135万円
特別会計	国民健康保険	1億 858万円	7億 159万円	
	土地開発事業	78万円	3121万円	
	介護保険	1億4029万円	6億9125万円	
合計		226万円	8704万円	
合計		3億5585万円	66億8067万円	

会計名		収益的収入	収益的支出	資本的収入	資本的支出
下水道事業会計	補正額	72万円	72万円	72万円	72万円
	補正後の予算額	2億6902万円	2億1485万円	2億8112万円	2億7431万円

令和7年度決算認定

令和8年第3回定例会を9月8日から11日までの4日間の会期で開きました。

9月定例会は決算議会でもあり、令和7年度の一般会計及び特別会計、下水道事業会計の決算を審議し、全て原案のとおり認定しました。

令和7年度決算のあらまし

決算審査報告・審査意見

各会計の歳入歳出決算等は正確なものと認め、予算の執行についても、適正かつ効率的に行われていると認めました。町の財政状況は、広野火力発電所の固定資産税大規模償却資産分への依存度が依然として高い状況にあります。財政力を示す指標である財政力指数は、令和7年度は1.125となり、普通交付税が交付されない不交付団体となりました。

令和8年度以降、広野IGCCパワー合同会社に係る固定資産税大規模償却資産分は毎年逓減する税収であることを鑑み、令和7年度に実施した施策の結果を検証するとともに、町民のための優先事業等を見極め、さらなる財政の健全化を図る必要があると思います。

国民健康保険や介護保険特別会計の給付費は、依然として高い水準で推移しており、引き続き特定健康診査の受診率の向上に努めていただくとともに、高齢者の疾病の早期発見、適正医療による重症化防止により、歳出の節減に努めるよう要望します。

公共下水道事業は、住民の良好な生活環境の維持と公共用水域の水質保全という重要な役割を担う公共インフラであることから、今後も厳しい財政状況が予測されますが、引続き計画的な施設整備や処理場経費等の削減、定期的な料金体系の見直しなど、健全経営に向け努められ、一般会計からの負担金を極力減らすよう努めることを要望します。

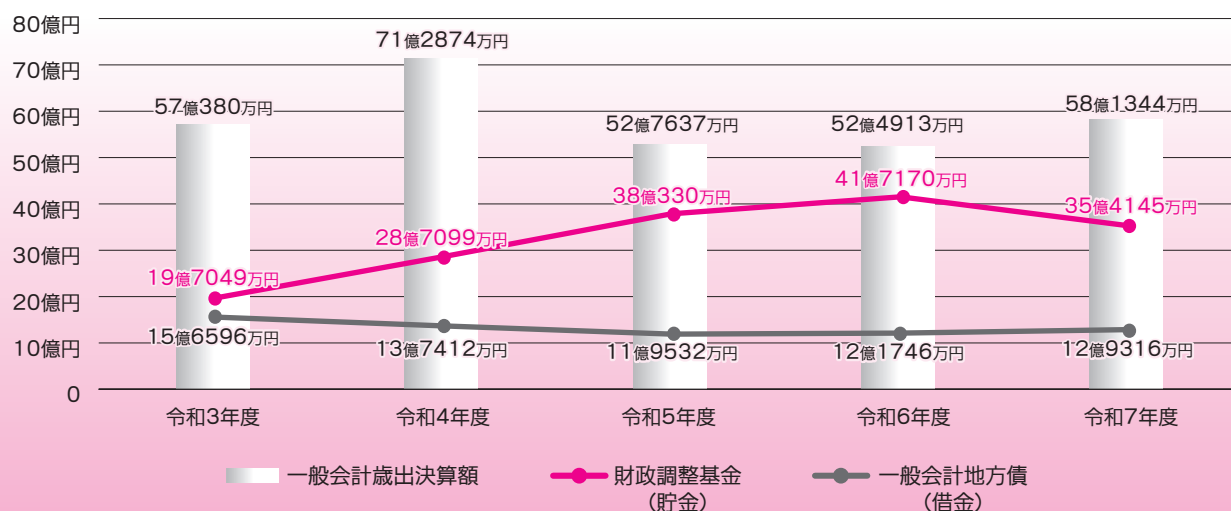


はりう ひろみ
針生 寛美
代表監査委員

一般会計算出決算・貯金と借金の推移

歳入 64億5862万円（前年度比12.2%増）

歳出 58億1344万円（前年度比10.8%増）



令和7年度決算 各議員の評価・提言

つなげよう！令和9年度予算編成へ

令和7年度の町政運営を各議員はどう評価したのか、決算審議を通して令和9年度予算編成に向けた提言や期待することなどをお伝えします。

西本 久雄 議員

令和7年度決算を踏まえ、これまでの事業を続けるだけでなく、その成果と課題を確認することが大切です。町民の暮らしへの効果と将来負担を見極め、限られた財源を本当に必要な取組へ生かす令和9年度予算としていただきたいと思います。

同じ賛成でも、
議員の視点は
様々です。



渡邊 正俊 議長

渡邊 忠義 議員

広野町の健全化判断比率は、基準値内でありました。私たちの町は、不交付団体であり地方交付税を受け取る必要がないほど、財政的に自立している自治体であります。今後は火力発電所に依存しない税収の改善が必要と思います。

高木 光雄 議員

火力発電所の固定資産税減収が見込まれる中、財政調整基金の繰入れに頼る財政運営の見直しが必要です。前例踏襲を改め、事業の必要性や優先度を検証し、将来を見据えた効率的で持続可能な予算編成を望みます。

西内 玄太 議員

令和7年度予算の適切な執行を確認しました。今後、固定資産税の減収が見込まれる中、既存事業の見直しを進め、教育や子ども・子育てなど、将来につながる施策へ予算を重点的に配分する必要性を感じました。

北郷 伯弘 議員

都市と農村の関係は変化している。少子高齢化、担い手不足が進む。農地が荒れば、農家だけの問題にとどまらない関係を整理する見方、考え方がある。地域同士の支え合い。同じ地域の中での循環を区別して捉える視点である。政策の中で支払費の増額を強く望みます。

遠藤 浩 議員

町は財政難の状況にあっても、国・県の支援金と自前の投資資金を効果的に組み合わせ、将来の成長を見据えた積極的な施策を展開していただきたい。

門馬まりえ 議員

新給食センターが完成し給食提供が開始されました。1日1食でも小、中学校9年間の塩分やバランスを考えた食事に接することで児童、生徒に味覚がしっかりと残り、将来の健康づくりにつながっていければと考えています。

報告

を報告します

8月6日（木）
総務文教常任委員会

調査件名

- 広野駅周辺開発について
- 移住定住事業について

総務文教

広野駅周辺開発

●駅東側産業団地

令和8年4月に進出に向けて連携協定を締結した、医療関連分野の部品製造メーカーである（株）金子製作所が補助金の申請を完了したとのことでした。

●駅東ニュータウン

広野駅東ニュータウンの区画の販売状況については、47区画中、売却済みの区画が8区画となったものの、商談中の区画は0区画となったとのことでした。8月からは月に1度住宅メーカーと打ち合わせを行うこととしたとのことでした。

また、9月19日開催予定のHIRONOX STYLE2026において、宅地分譲・移住定住PRゾーンを設け、支援金制度等の情報を発信するとのことでした。

●新広野駅

広野駅舎改修事業については、令和8年9月に予定されていた簡易Suica改札の移設がJR側の都合により12月に変更になったとのことでした。

●広野駅西側

ロータリー整備事業
町が行う不動産鑑定評価は予定通り実施され、鑑定結果を基に、用地取得についてJR東日本と協議を開始したとのことでした。今後は、令和9年度に用地取得、令和10年度に整備工事を実施する見込みとのことでした。

総務文教

移住定住事業

●相談窓口等体制

役場内に相談窓口を開設し、相談員を常駐させ、移住された方や移住を検討する方の暮らしの相談に対応しているとのこと、子ども子育て、就労関係の相談が多いとのことでした。

また、県外のイベントや移住フェアに出展し、移住の際に役立つ情報発信を行っているとのことでした。

農業委員会と相談窓口が共同で出展対応した「福島くらし＆就農フェア」や生活圏が類似した3市町村合同で実施した「檜葉町・いわき市・広野町合同移住セミナー」など、令和7年度は11回の出展を行い、令和3年度から令和7年度までの5年間で587件の相談に対応したとのことでした。

相談窓口における相

談件数は年々増加しており、広野町へ興味と関心を持つ方は着実に増加している傾向にあるとのことでした。

また、令和7年度からは移住者が安心して暮らせるよう身近な立場で相談等を受けていただく「地域応援サポーター」の制度を開始し、26人の住民の方々に登録をいただいているとのことでした。



役場内の移住定住相談窓口

8月7日（金） 産業厚生常任委員会

調査件名

- 子育て支援について
- 空き家対策について
- 林業専用道整備事業(狼山叶沢線)について

委員会

各常任委員会の活動状況

産業厚生

子育て支援

●子育て支援施策

広野町では、「第3期広野町子ども・子育て支援事業計画」に基づき、各種事業を進め、妊娠期から出産、乳幼児期、学齢期まで、切れ目のない支援体制の構築を進めており、経済的負担の軽減、保育・教育環境の充実、相談

体制の強化、地域全体で子育て支援の推進など、多様な施策を展開しているとのことでした。

現在町が実施している子育て支援施策は43件あり、対象年齢に合わせた各種事業を行っているとのことでした。

産業厚生

空き家対策

●空き家実態調査

令和8年度において、空き家実態調査として「候補抽出」、「位置特定」、「所有者特定」、「所有者意向調査」、「調査結果整理」、「GISデータ整備」、「セミナー開催」を内容とする業務委託を令和8年7月29日付けで契約締結したとのことでした。

今後の進め方
8月から10月に空き家住宅の候補を特定し、11月から3月に住宅提示意欲及びマッチング意向調査として、アンケートを実施し、所有者へ今後の利活用について賛否の確認及び空き家バンクへの登録意思があるのかを調査する予定です。

調査を進めてデータを集めた後は、関係課を跨ぐ形になっており、『特定空き家』については環境防災課、『空き家バンク、移住定住』については政策企画課、『利活用』については建設課で対応していく予定とのことでした。

産業厚生

林 専道狼山叶沢線

●整備状況

本事業の進捗率については、令和8年7月末現在で、全体延長4,132.06mのうち、約70%が完成し残り30%となりました。

7工区については、令和8年8月31日までの工期としていました。一部区間に硬い岩盤層が現れ、降雨のために道路路面が洗掘されたことから、不陸などの手直し作業が発生し、不測の日数を要し

ため工期を令和8年12月28日まで延長する変更承認手続きを行っており、8月中旬に承認される見込みとのことでした。

さらに、7工区における事業費については、令和7年度林業専用道事業補助金における当町への補助配分額を満たす必要があるため、工事数量を変更し、7工区における事業費増額に係る変更承認手続きを行い、11月に変

更仮契約、12月に議会上程、本契約とするスケジュールでは、8工区については、従来の8工区と9工区を一つの工区とし、施工延長1,258.66mとする協議を行い、7月に補助金交付決定を受け、8月に入札、仮契約を締結し、9月に議会上程、本契約とするスケジュールで手続きを進めていくとのことでした。



子育て家庭に寄り添い、親子の歩みを支える

5人の議員が 町政を問う

北郷 伯弘 P13

- 防災士の資格取得に要する補助金支援について
- 地域の農作物の栽培講習会の取り組みについて

遠藤 浩 P14

- 農業者の確保について
- 農業振興の展望について
- 土砂採取区域森林機能回復事業の完了について

渡邊 忠義 P15

- 広野町ゼロカーボンシティ宣言後の進捗状況について
- 広野町地域福祉計画と社会福祉協議会の関わりについて

西内 玄太 P16

- 中学校の建て替えについて
- 子ども・子育て支援について

高木 光雄 P17

- 広野町振興公社の新体制
- 災害停電時における町の対応

一般質問は、行政全般にわたって執行機関に疑問点をただし、説明を求めたり所信を問いたですものです。

追跡 レポート

追跡
レポート

あの質問 どうなった？

議員の質問・提言に答える町執行部、その答弁がその後どうなったのか、どう町政に反映させているのか、対応を追跡しました。

令和7年3月定例会 一般質問

高木 光雄 議員

当町では最低制限価格制度を導入しないのか？

工事品質低下や協力会社支払いへの影響から、他自治体では導入しているが当町では設けていないことに対してどのように捉えているのか。



町長答弁 「最低制限価格導入を検討する」

契約内容に適した履行を確保する工事等の請負契約の案件が認められないため導入していないが、今後において一般質問を重く受け止め制度導入を検討する。



令和8年4月1日より 最低制限価格制度導入!!

1. 導入目的

公共工事における品質の確保、低価格受注による公正な取引秩序の阻害、下請け業者へのしわ寄せ、労働条件の悪化、安全対策の不徹底等を未然に防止するとともに、建設業をはじめとする関係団体の健全な発展を期することを目的として導入。

2. 対象入札

設計金額（税込）500万円以上の建設工事

3. 最低制限価格の算出方法

設定範囲：予定価格の7.5/10 ～ 9.2/10の範囲内

農作物

栽培講習会の再開は？

町長／定期的な開催を検討

北郷：町は、これまで県支援の作物の育て方を学び講習会に取り組んできました。

農業作物栽培への勉強会は、教えて学ぶだけでなく、農業振興・地域交流・農家支援・食育につながるかが重要です。

講習会を再開すべきと考えますがいかがでしょうか。

町長：農作物の栽培講習会につきましては講師を招き、上手な種ま



きたごう 北郷
みちひろ 伯弘 議員

きや苗の選び方、参加者が持参した土に適した肥料の与え方、病害虫対策などを学ぶ機会として、平成28年度から「野菜づくり勉強会」をこれまで7回開催してまいりました。

昨年は開催出来ませんでしたでしたが、今年度につきましては、10月上旬に開催を予定しております。日程が決定次第、回覧等によりお知らせいたします。

今後も、野菜をはじめ、お米・みかん・ぶどう等の農作物の栽培について、より多くの町民の皆様に対し、広く興味を持っていただくとともに、品質の良い農作物の生産と広野産の安心・安全な作物を知っていただくことを目的として、「農作物の栽培勉強会」の定期的な開催に取り組んでいきます。



過去開催した「野菜づくり勉強会」

防災士資格

取得費用の支援は？

町長／多くの資格取得を支援検討

北郷：広野町は「災害に強い町づくり」を大きな柱として、精力的に取り組まれてきました。

日本防災士機構が認証する「防災士」は、「自助」「共助」「協働」を原則として社会の防災力を高める為の十分な意識と一定知識・技能習得をします。

受験から登録申請までの費用は、6万円を必要とします。

防災体制の構築に、取得費用の支援を講じるべきではないでしょうか。

町長：町では、町民の防災意識の高揚を図り、地域防災の担い手となる防災士の育成を促進するため、防災士資格取得費用の一部を補助する制度を令和5年4月1日から運用しております。

「ひろのまち暮らしのガイド」を各戸配布し周知しております。

なお、本制度の利用者は2名となっております。

補助制度の利用条件については、町民であり、防災士研修講座を受講し資格を取得した

上で、地域における防災の担い手として防災活動に参加する意思があり、消防本部、消防団へ防災士取得の情報提供に同意する方が対象となります。

補助対象経費につきましては、防災士研修講座受講料及び、資格取得試験受講料、資格認定登録料の合計金額の2分の1となっております。

今後におきましても、多くの方が防災士資格を取得できるよう、支援してまいります。





えんどう 遠藤

ひろし 浩 議員

農業者

「兼業農家の育成」を！

町長／二層の農業構造を目指す



遠藤：農業者の確保について、農業経営のリスクを軽減し、長期的な農業経営が可能となる「兼業農家の育成」をしっかりと支援することが、町内の農業者を確保する事に繋がると考えますが、町長の考えを伺います。

町長：農業者の確保については、専業農家だけでなく、兼業農家も地域農業を支える存在として、守っていくべきと考えています。農業経営の安定化を図り、離農しないよう

取り組み、広野町担い手確保支援事業補助金の新規就農者確保促進事業により新規就農者を支援し、育成にも取り組んでまいります。一方で、規模拡大を目指す農家や農地の貸付を希望する農家との調整を行い、農地中間管理事業を活用し、意欲ある農家への集積を図り、専業農家を中核にしつつ、兼業農家を裾野として育成する両者を組み合わせた二層構造の農業構造を目指していきます。

農業振興

町内に「低温倉庫」の建設を！

町長／建設実現に向けた協議を進める

遠藤：農業振興の展望について、「多面的機能支払事業」はどのような活動組織の支援なのか伺います。

町長：多面的機能支払事業については、担い手に集中する農地・農道・水路等の保全管理など地域住民や農業者による共同活動について、広域協定を締結した26集落における相互の労力補完や広域的な活動を支援しています。

遠藤：生産組合設立の進捗状況について、伺います。

町長：生産組合の設立については、現在、設立には至っておりません。

お米については、認定農業協議会の座談会を予定しており、品目、

共同出荷・販売など生産組合の設立に向けて意見交換を行ってまいります。

また、みかん、ぶどう等につきましても、同様に生産者の方々と意見交換を行ってまいります。

遠藤：商品の品質を保つために重要な農業施設となる「低温倉庫」などが町内に必要であると考えますが、町長の考えを伺います。

町長：低温倉庫の建設にあたっては、補助事業である福島再生加速化交付金被災地域農業復興総合支援事業（農業用施設整備等）の活用を含め、生産者及び関係機関等と建設実現に向けた協議を進めてまいります。

防災の駅整備事業

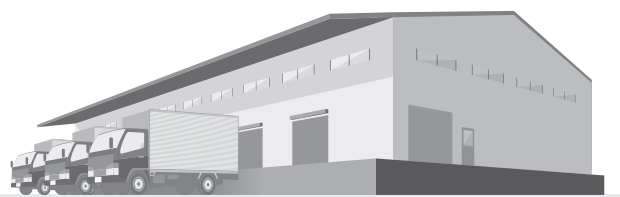
今後の展望は？

町長／住民懇談会等で直接お伝えしたい

遠藤：土砂採取区域森林機能回復事業の完了について、町のかじ取りを担う町長の立場から、この事業施策について総括的な受け止めを伺います。

町長：「防災拠点・道の駅ひろの整備事業」「広野町防災の駅整備

事業」に関して、平成26年度から令和7年度までの間に、委託費工事費、用地費などに約10億5千万円もの事業費を要しています。これまでの経緯、町の財政状況等を踏まえた議員の皆さまのご意見、ご理解を聞かせていただき、最終的な判断を行った上で、住民懇談会等において町民の皆様にご直接お伝えしたいと考えております。



農業施設となる「低温倉庫」イメージ図



にしうち げんた 議員
西内 玄太

中学校建て替え

想定規模は十分か？

町長／生徒数増に対応可能

西内：広野中学校の建て替えに向け基本設計が進められているものと認識しますが、現在の進捗状況、想定する生徒数や施設規模、今後のスケジュールについて伺います。

また、震災前の生徒数や今後の町の将来像を踏まえ、生徒数の増加にも対応できる施設とする考えはあるか伺います。

町長：現在の進捗状況については、基本設計



現在の広野中学校校舎

業務委託公募型プロポーザルを実施し、審査結果最優秀者と契約に向けた打ち合わせをしているところです。

生徒数は1学年40名前後を想定し、施設規模は各学年2学級、建物延床面積は、現在とほぼ同じ3,000㎡としています。

今後のスケジュールは、本年度の基本設計を踏まえ、令和9年度に実施設計、令和10年度から11年度にかけて建築工事を予定してい

ます。

震災前の平成22年度の生徒数230名と比較して令和8年度は122名であり、50%ほど減少しておりますが、令和8年策定の第六次広野町町制振興計画では、令和17年における将来人口を5,000人程度で維持することとしており、これらを踏まえ、生徒数の増加にも対応可能とするため多目的室等の整備を検討しています。

妊婦のための支援給付

独自の上乗せをしては？

町長／別事業で実施中

西内：安心して子どもを産み育てられる環境の充実と子育て世帯の経済的負担の軽減のため、妊婦のための支援給付に独自の上乗せを行うなど、妊娠・出産期の経済的支援を拡充する考えはあるか伺います。

負担軽減に努めているところです。

「妊婦のための支援給付事業」への町独自の上乗せについては、現在、出産祝金として別事業で現金給付を上乗せしており、出産時に5万円、入学祝金として小学校入学時に5万円、中学校入学時に5万円を支給しています。

一方で、子育て支援の充実、市内の子育て世帯の負担軽減に加え、広野町への移住・定住を促す要素であると認識しています。

今後、妊娠・出産期の負担軽減につながる支援策や、拡充などについては、妊娠期の移動負担の軽減も踏まえ、安心して出産を迎えられる環境づくりを進め

るため、妊婦認定時の母子健康手帳の交付に併せ、「妊婦タクシー券」の支給を検討していきます。

若い世代が広野町を子育ての場として選んでいただけるよう、引き続き施策の検討をしてまいります。

併せて、結婚を希望する方々への出会いの機会づくりや、不妊に悩む夫婦への支援など、ライフステージに応じた取り組みも推進し、誰もが将来の希望を描ける環境づくりを進めていきます。

広野町振興公社の新体制

新体制で経営改善を？

副町長・町長／事業を精査し健全経営

高木…新体制のもと、これまでに公社経営の課題と、組織・経営体質、職員の意識を含めた改善策を伺います。

副町長…継続事業の検証、業務執行体制の見直しが必要と認識しています。

利用者の視点に立つて主体的に業務に取り組み意識の醸成を図ります。

高木…新たに代表取締役専務を配置したこと



たかぎみつお
高木 光雄 議員



振興公社事務所
(フラワーパーク内)

高木…現在の事業について収益性だけでなく、必要性や将来性を検証し、継続・改善・拡充・廃止を含めて見直す考えを伺います。

副町長…公益性のある事業は収益性だけで判断せず、持続可能な経営を重視します。

毎月、役員、幹部社員で事業の必要性、公共性、利用状況、費用対効果を検証し、継続・改善・拡充・縮小、廃止を協議しています。

高木…副町長が社長に就任したことで、利益相反が生じないよう、公正性、透明性をどのように確保するのか伺います。

町長…公社は独立した法人で、意思決定は会社法や定款に基づくのが基本です。

特に町と公社の利益が重なる契約や指定管理に関する事項は、担当課の確認、庁内での決裁手続き等組織として、適正な手続きを徹底するとともに、適時説明責任を果たし、公正性と透明性の確保に努めます。

高木…本年3月定例会で示された、有識者を含む検討委員会の進捗状況を伺います。

町長…新体制でこれまでの事業の実施状況や収支、施設管理のあり方などの精査を進めています。

その上で、必要に応じて外部の専門的な知見を取り入れ、委員会の設置時期、構成員の検討事項等を整理し、実効性のあるものにし、たいと考えています。

災害停電時における町の対応

局地的な停電にも対応を？

町長／巡回・情報収集で不安解消

高木…住民生活に不安と不便を与える災害停電発生時に、情報収集が困難になることを踏まえ、電力事業者との協定に基づく町の具体的な役割、対応を伺います。

町長…電力事業者、行政区長からの情報収集、職員巡回の確立及び、防災行政無線で停電箇所、復旧時間を住民へ周知します。

町長…東北電力ネットワークと連携し、防災行政無線による停電情報の周知、中枢となる施設の優先電源確保、復旧作業の要請、復旧作業拠点提供、倒木等の障害物撤去などに対応します。

高木…局地的な災害や長時間停電時の状況把握と住民への情報提供、不安解消策を伺います。

町長…近年、気象災害の激甚化を踏まえ、樹木管理の現状、伐採や枝払いの必要性について、町、電力事業者、地権者の皆様とで協議する場を設けます。

○：賛成 ×：反対 議：議長 欠：欠席 病：病気等 退：退席 除：除斥 無：無記名投票
※議長は採決に加わりません。

令和8年9月 第3回定例会

議案等番号	件名	議決 月日	出 席 者 数	表 決 者 数	賛 成	反 対	議決 結果	議 員 名 (議席番号順)							
								1	2	3	4	5	6	7	8
								西 本 久 雄	渡 邊 忠 義	高 木 光 雄	渡 邊 正 俊	西 内 玄 太	北 郷 伯 弘	遠 藤 浩	門 馬 ま り え
議 案 第36号	広野駅交流施設設置条例の制定について	9/9	8	7	7	0	原案 可決	○	○	○	議	○	○	○	○
	広野駅交流施設の設置及びその管理に関する事項について定めるため制定するもの。														
議 案 第37号	広野町特定復興産業集積区域における町税の特例に関する条例の一部を改正する条例	9/9	8	7	7	0	原案 可決	○	○	○	議	○	○	○	○
	東日本大震災復興特別区域法第43条の地方税の課税免除又は不均一課税に伴う措置が適用される場合等を定める省令の改正に伴い、本条例について所要の改正をするもの。														
議 案 第38号	広野町福島県特定事業活動振興計画に基づく町税の特例に関する条例の一部を改正する条例	9/9	8	7	7	0	原案 可決	○	○	○	議	○	○	○	○
	福島復興再生特別措置法第26条等の地方税の課税免除又は不均一課税に伴う措置が適用される場合等を定める省令の改正に伴い、本条例について所要の改正をするもの。														
議 案 第39号	広野町福島県新産業創出等推進事業促進計画に基づく町税の特例に関する条例の一部を改正する条例	9/9	8	7	7	0	原案 可決	○	○	○	議	○	○	○	○
	福島復興再生特別措置法第26条等の地方税の課税免除又は不均一課税に伴う措置が適用される場合等を定める省令の改正に伴い、本条例について所要の改正をするもの。														
議 案 第40号	広野町地方活力向上地域における固定資産税の不均一課税に関する条例の一部を改正する条例	9/9	8	7	7	0	原案 可決	○	○	○	議	○	○	○	○
	地方再生法第17条の6の地方公共団体等を定める省令の改正に伴い、本条例について所要の改正をするもの。														
議 案 第41号	工事請負契約の締結について (林専道狼山叶沢線(8工区)開設工事)	9/9	8	7	7	0	原案 可決	○	○	○	議	○	○	○	○
	8月26日に執行した入札で、株式会社金村組が落札したため、工事請負契約を締結するもの。														
議 案 第42号	令和7年度広野町一般会計歳入歳出決算認定について	9/9	8	7	7	0	原案 認定	○	○	○	議	○	○	○	○
	監査委員の審査を受け、地方自治法第233条第3項の規定に基づき決算審査意見書を付して、議会の認定に付するもの。														
議 案 第43号	令和7年度広野町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	9/10	8	7	7	0	原案 認定	○	○	○	議	○	○	○	○
	監査委員の審査を受け、地方自治法第233条第3項の規定に基づき決算審査意見書を付して、議会の認定に付するもの。														

議案等番号	件名	議決 月日	出席 者数	表決 者数	賛成	反対	議決 結果	議員名（議席番号順）							
								1	2	3	4	5	6	7	8
								西 本 久 雄	渡 邊 忠 義	高 木 光 雄	渡 邊 正 俊	西 内 玄 太	北 郷 伯 弘	遠 藤 浩	門 馬 ま り え
議案 第44号	令和7年度広野町土地開発事業特別会計歳入歳出決算認定について	9/10	8	7	7	0	原案 認定	○	○	○	議	○	○	○	○
	監査委員の審査を受け、地方自治法第233条第3項の規定に基づき決算審査意見書を付して、議会の認定に付するもの。														
議案 第45号	令和7年度広野町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	9/10	8	7	7	0	原案 認定	○	○	○	議	○	○	○	○
	監査委員の審査を受け、地方自治法第233条第3項の規定に基づき決算審査意見書を付して、議会の認定に付するもの。														
議案 第46号	令和7年度広野町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	9/10	8	7	7	0	原案 認定	○	○	○	議	○	○	○	○
	監査委員の審査を受け、地方自治法第233条第3項の規定に基づき決算審査意見書を付して、議会の認定に付するもの。														
議案 第47号	令和7年度広野町下水道事業会計歳入歳出決算認定について	9/10	8	7	7	0	原案 認定	○	○	○	議	○	○	○	○
	監査委員の審査を受け、地方自治法第233条第3項の規定に基づき決算審査意見書を付して、議会の認定に付するもの。														
議案 第48号	令和8年度広野町一般会計補正予算（第2号）	9/11	8	7	7	0	原案 可決	○	○	○	議	○	○	○	○
	歳入歳出それぞれ、1億394万4千円を増額するもの。歳出の主なものは、財産管理費、賦課徴収費、地域振興対策費、社会福祉総務費、障がい者福祉費、児童措置費、観光費、道路維持費、防災対策費など。														
議案 第49号	令和8年度広野町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	9/11	8	7	7	0	原案 可決	○	○	○	議	○	○	○	○
	歳入歳出それぞれ、1億857万5千円を増額するもの。歳出の主なものは、国保基金積立金、繰出金、予備費などの増額計上。歳入については一般会計繰入金、繰越金の増額計上。														
議案 第50号	令和8年度広野町土地開発事業特別会計補正予算（第1号）	9/11	8	7	7	0	原案 可決	○	○	○	議	○	○	○	○
	歳入歳出それぞれ、77万8千円を増額するもの。歳出については、一般管理費の増額計上。歳入については、繰越金の増額計上。														
議案 第51号	令和8年度広野町介護保険特別会計補正予算（第2号）	9/11	8	7	7	0	原案 可決	○	○	○	議	○	○	○	○
	歳入歳出それぞれ、1億4029万2千円を増額するもの。歳出の主なものは、介護給付費準備基金積立金、償還金、一般会計繰出金、予備費などの増額計上。歳入については一般会計繰入金、繰越金の増額計上。														

○：賛成 ×：反対 議：議長 欠：欠席 病：病気等 退：退席 除：除斥 無：無記名投票
※議長は採決に加わりません。

令和8年9月 第3回定例会

議案等番号	件名	議決 月日	出席 者数	表決 者数	賛 成	反 対	議決 結果	議 員 名 (議席番号順)							
								1	2	3	4	5	6	7	8
議案 第52号	令和8年度広野町後期高齢者医療特別会計 補正予算(第1号)	9/11	8	7	7	0	原案 可決	西 本 久 雄	渡 邊 忠 義	高 木 光 雄	渡 邊 正 俊	西 内 玄 太	北 郷 伯 弘	遠 藤 浩	門 馬 まり え
	歳入歳出それぞれ、226万円を増額するもの。歳出については、後期高齢者医療保険料還付金、一般会計繰出金、予備費の増額計上。歳入については、繰出金の増額計上。														
議案 第53号	令和8年度広野町下水道事業会計補正予算 (第2号)	9/11	8	7	7	0	原案 可決	○	○	○	議	○	○	○	○
	歳出については72万4千円を増額するもの。歳出については、収益的支出における人件費の増額計上。														

議会の様子を見ませんか？ 次回の定例会は12月です



議場傍聴席入口にある受付票に住所・氏名をご記入いただくだけで、議会を傍聴できます。
また、定例会の録画映像をインターネットでも配信しています。
広野町ホームページまたは、下の二次元コードからアクセスできますので、ぜひご視聴ください。

●議会映像ホームページ
<https://hirono.k-quick.net/>



会議等出欠状況

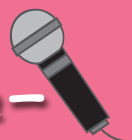
議会の議長や、各委員長等から招集通知があり、開催された会議や研修の出欠状況です。

このほかにも、町が主催する式典や小・中学校の発表会、広域圏組合や双葉地方町村議会議長会が主催する会議にも出席しています。

令和8年7月1日～9月30日

○:出席 ×:欠席 △:遅刻、早退 -:員外 弔:弔事 研:研修 公:公務 病:病気等

月	日	曜日	開催会議名等	1 西本 久雄	2 渡邊 忠義	3 高木 光雄	4 渡邊 正俊	5 西内 玄太	6 北郷 伯弘	7 遠藤 浩	8 門馬 まりえ
出席回数（回）				15	12	15	21	17	16	16	12
会議回数（回）				16	12	15	21	17	16	17	12
7	1	水	町村議会広報研修会（福島県町村議会議長会主催）	○	-	○	○	○	○	○	-
	2	木	広報委員会	○	-	○	○	○	○	○	-
	8	水	広報委員会	○	-	-	-	○	-	-	-
	13	月	町・議会合同要望活動	○	○	○	○	○	○	○	○
	14	火	町・議会合同要望活動	○	○	○	○	○	○	○	○
	17	金	町民との意見交換会取りまとめ	○	○	○	○	○	○	○	○
	29	水	町民との意見交換会における町行政に対する意見報告書手交	-	-	-	○	-	-	-	-
8	4	火	双葉地方町村会・双葉地方町村議会議長会合同要望活動	-	-	-	○	-	-	-	-
	5	水	双葉地方町村会・双葉地方町村議会議長会合同要望活動	-	-	-	○	-	-	-	-
	6	木	総務文教常任委員会	○	-	-	○	○	-	-	○
	7	金	産業厚生常任委員会	-	○	○	○	-	○	○	-
	15	土	平田村・西会津町・広野町議会議員交流会	×	○	○	○	○	○	○	○
	17	月	町村議会正副議長・事務局長研修会	-	-	-	○	-	-	○	-
	28	金	町村議会広報研修会（全国町村議会議長会主催）	○	-	○	○	○	○	病	-
9	1	火	議会運営委員会	-	○	-	○	○	○	○	○
	3	木	令和7年度決算の事前説明会	○	○	○	○	○	○	○	○
	8	火	令和8年第3回定例会（1日目）	○	○	○	○	○	○	○	○
	9	水	令和8年第3回定例会（2日目）	○	○	○	○	○	○	○	○
	10	木	令和8年第3回定例会（3日目）	○	○	○	○	○	○	○	○
	11	金	令和8年第3回定例会（4日目）	○	○	○	○	○	○	○	○
	11	金	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○
	28	月	広報委員会	○	-	○	○	○	○	○	-



ま ちかど インタビュー

東日本大震災から15年

振り返って思うことは？

第3回

15年という節目に際して、インフラ整備は進んでいるものの、
いまだ癒えぬ悲しみや記憶が残ります。あの大変な日々を振り返
ると、一人一人違った経験があり、その経験を乗り越えて今の生
活があるかと思っています。

そこで、震災から15年を振り返って思うことをお聞きしました。



小貫 隆幸さん
(下浅見川)

震災から15年が経ち、
店を閉めた方もいて、
駅前通りもずいぶん寂
しくなったと感じます。
問屋さんの高齢化や
双葉郡の需要の変化、
コロナの影響もあり、
仕入れや販売の形も大
きく変わりました。
それぞれ事情はある
と思いますが、これか
ら少しでも駅前通りに
人が戻り、空き家や草
の伸びた空地も活用さ
れ、町全体が明るくき
れいになっていけばい
いなと思っています。



新田 誠さん
新田 誠一さん
(下浅見川)

震災からの15年は本当
に濃く、目の前のことを
追いかけてながら走ってき
たように思います。
震災直後の4月には営
業を再開しましたが、手
続きや遠方への行き来、
空き巣など、いろいろな
苦労もありました。
それでも何とか続けて
こられました。駅前通り
は以前より人通りが少な
く寂しさも感じます。
これから若い人や町の
人が集まり、二ツ沼公園
など広野町の魅力も生か
しながら、また人通りの
ある景色が戻ってほしい
と思います。

編集後記

議会広報をお読み
いただき、ありがと
うございます。
近年は、豪雨によ
る河川の氾濫や土砂
災害、強風による倒
木など、これまで想
定していなかった災
害が身近な場所で発
生しています。
災害から命と暮らし
を守るためには、
日頃からの備えと早
めの避難が重要です。
町民の皆様には、
防災情報に関心を持
ち、危険を感じた際
にはためらわず避難
していただくようお
願いいたします。
議会も安全・安心
なまちづくりに向け、
委員 高木光雄
委員 北郷伯弘
委員 遠藤 浩
副委員長 西本久雄
委員長 西内玄太
委員長 渡邊正俊



実りを告げる彼岸花

(遠藤 浩)

次の定例会は12月です

発行・編集責任者

議長 渡邊正俊

広報委員会

委員長 西内玄太

副委員長 西本久雄

委員 遠藤 浩

委員 北郷伯弘

委員 高木光雄